

令和 2 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告書

（令和 3 年 3 月）

報告者氏名・所属	北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター	
研究プロジェクトの名称	少人数・遠隔教育の高度化を支援するへき地・小規模校教育プロジェクト	
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に●を付すこと	●玉井康之（へき地・小規模校教育研究センター長） 川前あゆみ（釧路校・准教授）他 へき地・小規模校教育研究センター運営委員全員	
研究プロジェクトの概要等（期間全体）		
本プロジェクトは、へき地校が小規模校化する中で、遠隔双方向システムを活用しながら、子供たちの社会性を高めたり、教員の研修を進めることを目的とし、そのために必要な遠隔双方向システムの活用方法があるかを検証するものである。このため、先事例を踏まえながら、遠隔双方向のあり方を分析した。		
進捗度	2	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味 (進捗度が3もしくは4の場合、その理由や問題点等を記入願います。)
研究実績の概要（今年度）		
<p>全国へき地教育研究連盟会長が在籍する洞爺湖温泉小学校の事例を抽出し、そのオンデマンド録画媒体の収録方法やオンラインによる同時双方向研修のあり方を、授業記録や研修記録をとりながら分析した。それを編集し、へき地教育研修用動画を作成した。</p> <p>併行して、北海道立教育研究所と本学との共催によるへき地教育研修講座では、基礎編及び発展編も、5キャンパスとへき地校へのオンライン配信で結ぶようにして開催しオンライン方式による効果的な研修の実施方法について検証した。</p> <p>11月6日には、この取組に基づく全国へき地教育研究連盟のオンライン研修会が開催され、それに正副センター長と地域連携室から課長・副課長が参加し、へき地校のオンライン研修会のあり方を録画しつつ、継続して分析を進めた。</p> <p>以上の成果を踏まえ、本学主催の第18回へき地教育推進フォーラムを12月3日、12月17日にオンラインにより開催し、全国のへき地教育研究連盟参加校、北海道内のへき地校に配信した。参加者アンケートにおいて、オンラインによる成果と課題について分析した。</p> <p>さらに副センター長が、リカレント教育の一環として、オンデマンドでへき地教育論研修講座を収録して配信した。</p> <p>次年度は、今年度の課題と成果を踏まえ、オンデマンド研修の利用方法や今後の改善方法を捉え、その方法と効果を分析していく。</p>		
教育現場や地域で活用可能な成果等		
オンラインを活用した教員研修の実施、へき地教育用研修動画の作成等により、学校の小規模校化に対応した取り組みを提示することができた。		
研究成果の公表実績（今年度）		
<p>【著書】 玉井康之・川前あゆみ・榎澤実『学級経営の基盤を創る5つの観点と15の方策』学事出版、2020年4月11日</p>		

【学術論文】

川前あゆみ・小野豪大「タイにおける小規模校の管理の工夫と日本への応用の視座-小規模校化する教育環境改善の一環とした遠隔教育の充実に向けて-」『へき地教育研究』第75号北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、2021年1月刊行

【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】

川前あゆみ・玉井康之「へき地・小規模校教育のパラダイム転換と現代における可能性」令和2年度日本教育大学協会研究集会 第4へき地・小規模校教育分科会、於：富山大学・WEB開催、2020年10月10日

川前あゆみ「北海道立教育研究所へき地教育研修講座」於：北海道教育大学駅前サテライト、2020年8月17日

川前あゆみ「学習者中心の学びと誰一人取り残すことのない個別最適化された学び」福島県教育委員会主催・避難地域12市町村における少人数教育に対応した教授法に関する教員研修 於：福島県葛尾町オンライン開催、2020年9月29日

川前あゆみ

【テキスト、報告書、研修資料等】

添付資料	
ダウンロード可能なドキュメント	
関連URL	
問い合わせ先	氏名：小林 佳之 電話：011-778-0942 E-mail:crc@j.hokkyodai.ac.jp